

心房細動アブレーション後における左房壁石灰化についての評価および検討

## 1. 研究の対象

2015年1月から2022年12月に当院で心房細動に対してカテーテルアブレーション治療を受けられた方でアブレーション治療後に胸部CT検査を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

目的：左房石灰化は心房細動アブレーション後に約5%の頻度で合併すると報告されており、特に複数回のアブレーション治療が左房石灰化のリスクとされています。しかし、心筋症(心アミロイドーシスや肥大型心筋症)を有する患者群における発症率は不明であり、既報も確認する限りはありませんが、当院にて心房細動を有する心アミロイドーシスや肥大型心筋症患者へのアブレーション治療後のCT検査にて左房石灰化を複数の症例で認めておりました。そのため、背景に心筋症(心アミロイドーシス、肥大型心筋症)を有する患者群と対照群の間での臨床的特徴や予後について評価をすることを目的としております。

方法：アブレーション前後での胸部CTを評価し、心筋症(心アミロイドーシス、肥大型心筋症)を有する患者群と対照群の間で左房石灰化の発生率の差異や、左房石灰化の有無による心房細動再発や心不全入院、心血管死等について検討します。

なお、研究期間は倫理委員会承認日～2024年3月31日までとなります。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、心電図、心エコー、胸部レントゲン写真、胸部CT

情報：診療録や紹介状の記録

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

電話：088-880-2352

研究責任者：高知大学医学部 老年病・循環器内科学 西村拓哉